



平成 26 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社  
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 田 島 秀 二  
 (コード番号：7707 JASDAQ)  
 問合せ先 常務取締役 経営統括本部長 秋本 淳  
 (TEL.047-303-4800 http://www.pss.co.jp/)

### 業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正するとともに、配当予想についても修正いたします。

#### 記

#### ● 業績予想の修正について

平成 26 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,900	△550	△480	950	52 円 05 銭
今回修正予想 (B)	3,921	△891	△826	611	33 円 48 銭
増減額 (B - A)	21	△341	△346	△339	
増減率 (%)	0.5%	－%	－%	△35.7%	
(参考) 前期実績 平成 25 年 6 月期	4,029	△126	△70	1,014	55 円 58 銭

(注) 1 株当たり当期純利益は、平成 26 年 1 月 1 日付で、1 株につき 200 株の割合をもって株式分割を実施した影響を考慮しております。

#### 修正の理由

##### (1) 業績予想の修正理由

売上高に関しましては、ほぼ前回予想どおりですが、売上原価や研究開発費の増加を招いたことから、営業損失は△891 百万円 (前回予想比△341 百万円) へ修正となりました。

当連結会計年度を通じた新製品開発の受注案件として、①アボットグループ向けの臨床診断用の検体前処理装置、②エリテックグループ向けの全自動遺伝子診断装置「geneLEAD (ジーンリード)」の 2 つの大きなプロジェクトに取り組んでまいりました。両案件とも今秋での製品化を目指していますが、開発売上やプロトタイプ納入などに関する売上原価につき、様々な要因から、当社の予想以上に膨らむ見通しとなりました。(ただし、量産化された際には一定の利幅確保は可能であると考えております。)

また、研究開発費に関しても大きく増加する見通しであります。上記 2 つのプロジェクトは、開発の最終局面を迎えておりますが、顧客が予定している期限までの完成を目指し、外注をフル活用しております。特に、臨床診断装置に対応したソフトウェアの開発負担は重く、当社の予想を大きく超える研究開発費の計上を余儀なくされました。

以上のことを主な原因として、営業損失、経常損失、当期純利益の見直しにつき、それぞれ修正いたしました。なお、前連結会計年度に引続き、当連結会計年度においても、当第1四半期に特別利益として投資有価証券売却益を計上していることから、当期純利益は黒字を確保する見通しであります。

(2) 今後の見通しについて

昨年、事業フィールドは研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3ヵ年の中期事業計画を策定いたしました。当連結会計年度は、その初年度でしたが、残念ながら、売上・利益計画などの数値目標は達成が困難な状況となりました。

現在、中期事業計画に関する見直し作業に取り組んでおり、今後の売上高や利益などの数値については慎重に検討しております。

ただし、会社の運営方針やビジネスの方向性はそのままであり、実際の事業内容、研究開発内容などに変更はありません。開発の最終局面を迎えているアボットグループやエリテックグループ向けの製品開発を中心として、それらが製品化された際には、当社の中期事業計画の実証が始まるものと考えております。

また、エリテックグループ向けの全自動遺伝子診断装置「geneLEAD」には、当社のDNA抽出試薬が搭載される予定であり、そのため、秋田県の大館試薬センターにおいては、検証用の試薬製造という試験的な製造ではありますが、すでに稼働が開始されております。

当社グループにとって、現在は、業績の飛躍に向けた正念場であると考えており、有価証券売却益で得た潤沢な手元資金を活用し、事業の拡大につなげたいと考えております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

●配当予想の修正について

当社は、内部留保については、研究開発活動を中心として、企業価値を高める様々な活動に利用していく方針であり、配当と内部留保のバランスをとりながら株主還元を行ってまいりたいと考えております。このため、当面の間は、連結での配当性向20%をひとつの目安として運用していく方針であります。この利益配分方針に従い、平成26年6月期の配当予想を下記のとおり修正いたします。

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成25年8月9日発表)	0.00	15.00	15.00
今回修正予想	—	7.50	7.50
当期実績	0.00	—	—
前期実績(平成25年6月期)	0.00	2,300	2,300

(注) 1株当たり配当金は、平成26年1月1日付で、1株につき200株の割合をもって株式分割を実施した影響を考慮しております。平成25年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

以 上